

施策マネジメントシート ～平成30年度の振り返りから2019年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ぎょうせい分野	担当課	財産監理課			
	政策分野	行政運営・市民協働	課長名	奥村 裕昭			
	施策	23 財産の有効活用		重点施策の該当	H30	-	2019
施策の目的	対象	市有財産及び公共施設	意図	適正に管理し、有効に活用する			

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
未利用財産の有効活用率(%)	-	-	66.2 (65.0)	67.0	69.0	70.0
公共施設等総合管理計画を 実行するための、実施計画 の策定進捗率(%)	-	-	20 (50.0)	75.0	100.0	100.0

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
80.3	16.0	84.0	16.6						
重要度DI	満足度DI								
78.5	-16.3	81.5	-15.5						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
公有財産の適正管理	5-10	仕分けにより方針を決定した市有地の割合(%)	-	-	20.0 (50.0)	75.0	100.0	100.0
施設の適正管理	5-10	実施計画に基づき、用途廃止と決定した施設を除いた公共施設の延べ床面積(m ²)	131,148	131,082	130,994 (131,148)	130,874 (131,148)	130,874 (131,148)	128,688

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
<p>・土地については、一部貸付けて有効活用しているが、全体としては見直しをかけ、処分と活用に仕分けすることが望ましい。この利活用について、市として方針を持つ事も重要であるが、まずは財産全体の仕分けが優先事項である。</p> <p>・施設については、老朽化した公共施設の建替えや修繕を行う必要がある。これらの経費増大が危惧されるなか、国の要請により、本市においても公共施設等総合管理計画を策定した。これにより、施設の改修時期と経費の全体像が明らかとなった。今後、各課所管の施設長寿命化計画と管理方針をもとに庁内で検討を行い、安易な建替えは行わず廃止や統廃合も視野に、実施計画を策定し施設を適正に管理しなければならない。</p>	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	・普通財産の払下や貸付は積極的に行われ、貴重な財源として有効に活用されている。
現状・課題	・財産の様々な情報を集約し、把握と有効活用を図るために、導入した財産台帳管理システムであったが、システムの完全構築が若干遅れたことから、未利用財産の仕分けが遅れている。また、大きな懸念材料である公共施設の維持管理費の増大に対応するため、公共施設等総合管理計画は策定したが、実施計画の策定が遅れている。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
継続・現状維持	・財産の所在や価値などの把握は、概ね出来たと判断する。今後は、早急に財産全体を処分と活用に仕分け、利活用方針を策定し、更なる有効活用を図らなければならない。また、公共施設等総合管理計画の実施計画により、不要な建物等については廃止するなどして、継続して適正な管理に努めなければならない。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
継続・現状維持	・施策担当課の記載する方向性のとおり。